

新年ご挨拶

2016年



宮城県労働者福祉協議会
会長 山崎 透

宮城労福協に集う皆さん、明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

明けて2016年、心を新たに夢と希望を持って新年を迎えられたと思います。

一方、東日本大震災から5回目の冬を迎えている被災者の皆さんは、未だに多くの人が遅れている災害復興住宅の建設や集団移転事業の進展・完成を心待ちにしているのと同時に、今後の生活再建に多くの不安を抱えている状況が続いています。

こうした復興・再生状況の中で、私たち宮城労福協も労働者福祉に携わるものとして、明けて2016年も県内を始めとする被災地と被災者の一刻も早い復旧・復興そして生活の再建に力を注ぎ、毎年続けている宮城県や仙台市など各市町村への復興支援の政策要請を基本に、復興の進展に見合った被災地、被災者支援の取り組みを各地方労福協とともに継続的行わなければならないと考えています。

「持続可能な社会づくり」を展望し、着実な歩みを進めている宮城労福協が、本年も、「連帯と協同で作る安心の福祉型社会」の構築による地域の再生や、格差・貧困社会の是正とセーフティネットの強化をめざした「生活困窮者自立支援制度」の定着、大きな社会問題となっている「奨学金制度」の見直し等々の施策の展開を進めていくことについて、是非、皆さんにもご理解を頂きつつ、申年の2016年、皆様とご家族にとって実り多き一年となりますようご多幸を心より祈念申し上げ、新年のメッセージとさせていただきます。



労働者福祉中央協議会
会長 神津里季生

新年明けましておめでとうございます。

いま日本は、雇用の劣化、貧困や格差の拡大等、社会の持続性が問われています。次の時代を担う多くの若者も、奨学金という多額の借金を背負い苦しんでいます。社会全体で若者を支えていくため、給付型奨学金制度の導入・拡充等を求める署名活動に全力あげ、広範な世論のうねりをつくっていきましょう。

中央労福協は、「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」に向けて、再分配機能の強化や社会的セーフティネットの充実など「公助」機能の強化を求める運動と、自ら「共助」機能の発揮を強める運動を、車の両輪として進めてまいります。また、生活困窮者自立支援制度を通じた地域づくりや、ライフサポート活動の深化にも取り組んでいきます。これまでの労福協運動の原点をしっかりと継承・発展させ、労働組合と労働者自主福祉団体、協同組合との連携を強固なものにし、職場に、地域に、共助の輪を広げていきましょう！

労働団体 事業団体

年頭メッセージ



連合宮城

会 長
小出 裕一

震災から 5 年を迎える被災地宮城においては、はたらく者の雇用や生活をどのように再生するのかが問われます。また、安倍首相の経済政策では生活改善を実感することができません。春闘・参議院選挙で、大手と中小企業・正規と非正規雇用・中央と地方など、様々な格差の解消に尽くします。



宮城県平和運動推進労働組合

議 長
大沼 元

人を殺し合う「安保法制」は廃止しかありません。戦争やテロをなくすには、格差・貧困・差別のない社会に向かうことです。

国内においても、国の制度設計の誤りにより、若者の雇用制度が悪化し、税と社会保障の一体改革が格差社会を増長しています。

平和労組会議は、人権の尊重を基本に、安保法制、原発再稼働、沖縄の米軍新基地建設を許さない闘いに全力をあげます。



宮城友愛核禁会議

議 長
富永 信明

アベノミクスの喧伝とは裏腹に、勤労者や年金生活者の将来不安は増大するばかりです。もはや誰が見ても年金制度は行き詰っており、その兆候は、貧困老人の増大が証明しています。誰も 30 年後の現行年金制度の存立を口にするものはいません。今こそ、生活者の声をあげなければなりません。今年も核兵器廃絶運動と産業と個人の生活を守る観点からのエネルギー政策に取り組めます。



宮城県中立労働組合連絡会

議 長
釜石 行雄

少子高齢化の進展による影響や、子どもの貧困など、さまざまな課題が山積みしています。私たちが抱える「雇用不安」「生活不安」「将来不安」の払拭と、労働者の立場に立った産業政策・社会政策の実現に向けて全力で取り組んでいきます。



東北労働金庫宮城県本部

本部長
佐々木安夫

「格差社会」の解消が国民的課題となっています。その運動の先頭を担っている皆さんと変革を求めていきたいと考えます。その基本は働く者が安心して働き、生活し、老後を不安なく過ごしていける社会をどう作っていくか。勤労者の身近な金融機関として引き続きお手伝いさせていただきます。



全労済宮城県本部

本部長
菅野 義雄

あけましておめでとうございます。

今年も「生涯生活保障設計運動」と 3 つの改革（組織改革・事業構造改革・意識改革）を推し進め、常に組合員・協力団体から信頼され、安心を提供できる「保障の生協」を目指し活動していきます。



宮城県生活協同組合連合会
会長理事
宮本 弘

地域社会の復興および被災者の生活再建にむけて、また、「人間らしいくらしの創造と持続可能な社会の実現」をめざして、活動してまいります。



宮城県労働福祉センター
副理事長
佐藤 勝彦

新年あけましておめでとうございます。
「ハーネル仙台」も開業して満 15 年が経過いたします。この間の会員を中心とする皆様のご愛顧に感謝いたしますと共に、更に、働く皆様の集う場としての、質の高いサービスの提供に向けて取り組んでまいります。



宮城県労働者福祉基金協会
理事長
阿部 康志

新年明けましておめでとうございます。
本年も「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉型社会」をめざし、“生活なんでも相談”をさらに充実させ、勤労県民の経済的・社会的地位の向上と地域社会の発展に向けて取り組んでまいります。



社会福祉法人 宮城ろうふく会
総括施設長
我妻 壮一

特養施設「大東苑」・デイサービス「大滝荘」・居宅支援センター・訪問看護ステーション・地域包括支援センターが連携をし、質の高い福祉サービスに努め、高齢者の皆さんが安全・安心・楽しく生活ができるよう役職員一同、精一杯努力してまいります。

ろうきんは組合と組合員のニーズに応えるために、低利な融資や有利な制度を提供し、労働組合の自主福祉活動をバックアップいたします。



ろうきんの基本姿勢 「わたしたちは、日本でただひとつ、はたらく人のための生活応援バンクです。」

- 目的** ろうきんは、はたらく仲間がつくった金融機関です
ろうきんは、労働組合や生活協同組合の組合員が、お互いを助け合うために、資金を出し合ってつくった協同組織の金融機関です。
- 運営** ろうきんは、営利を目的としない金融機関です
ろうきんは、労働金庫法にもとづいて、営利を目的とせず公平かつ民主的に運営されています。
- 運用** ろうきんは、生活者本位に考える金融機関です
ろうきんの業務内容は、預金やローン・各種サービスなど、他の金融機関とはほとんど変わりません。しかし、資金の運用が大きく違います。はたらく仲間からお預かりした資金は、大切な共有財産として、住宅・自動車・教育・育児など、はたらく仲間とその家族の生活を支え、より豊かにするために役立てられています。

地方・地区労福協

年頭メッセージ



仙台地方労福協

会 長
星 幸司

新年あけましておめでとうございます。
東日本大震災からの復興と、労働者と家族が安心して暮らしていけるよう一丸となって活動していきます。皆様のご支援をお願いいたします。



塩釜地方労福協

会 長
小野 廣

東日本大震災から 5 度目の新年を迎え、改めて大震災からの再生・風化させない運動そして、国民・労働者の意思を無視した安倍政権の横暴な政治を阻止するとともに、生活基盤拡充運動としての労福協運動を推進します。



石巻地方労福協

会 長
菅原 健二

新年あけましておめでとうございます。
大震災から 5 年が過ぎます。復興・新しい街づくりにはまだまだ時間がかかりそうです。課題のひとつひとつに向き合い石巻労福協一丸となり地域に根ざした運動をしてまいります。
皆様の変わらぬ支援をお願い致します。



気仙沼地方労福協

会 長
東 博

新年あけましておめでとうございます。
東日本大震災からの復興と、労福協活動を通じて、誰もが安心・安全に暮らせる平和な社会の実現にむけ、取り組んでまいりますので、変わらぬご支援をよろしくお願い致します。



大崎地方労福協

会 長
佐藤 光利

新年明けましておめでとうございます。
今年も労働者福祉向上に頑張ります。
よろしくお願いいたします。



仙南地方労福協

会 長
小野 文雄

新年明けましておめでとうございます。
勤労者の生活は収入の伸び悩みや不安定な雇用情勢など、依然として厳しい状況が続いています。人と人との『輪』を大切に、「安心・公生・連帯」の基本理念に基づき、構成団体と協力し労働者自主福祉運動を推進して参ります皆さまのご協力をお願い致します。



仙北地方労福協

会 長
藤村 孝喜

新年あけましておめでとうございます。
本年も労福協運動にご協力をいただきながら進めていきます。

東日本大震災から 5 年目になります。復興・再生に向けて引き続き取り組んで参ります。

本年も皆様のご協力をお願いいたします。



岩沼地区労福協

会 長
石山 光広

新年あけましておめでとうございます。

現在も続く可処分所得の減少・将来不安の改善に向け、地区労福協の活動を通じ、連帯強化を主眼に取り組みを進めてまいります。

本年も皆さまのご協力をお願い致します。



白石地区労福協

会 長
一條 武志

新年あけましておめでとうございます。

昨年 7 月に 2015 年度総会を開催し、労働金庫や全労済との連携を強化して労働者自主福祉運動の推進に努めることなど、地区労福協として地域に根ざした運動を展開していくことを確認しました。本年も皆様のご協力をよろしくお願い致します。



泉・黒川地区労福協

会 長
赤間 達夫

新年明けましておめでとうございます。

震災から間もなく五年目を迎えるようになっていますが、沿岸部の地域においては、復興が実感出来ない現状にあります。労福協として一日も早い復興を祈りながら、勤労者の雇用と生活安定に向け取り組んで参ります。

本年も皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

ZENROSAL NEWS



変わりゆくニーズに
応えて、変わらない
安心をカタチに。

全労済の 住みある共済

火災共済・自然災害共済

こくみん共済

総合医療共済

せいめい共済

ねんきん共済

マイカー共済

自賠責共済

交通災害共済

団体生命共済

新団体年金共済

新セット移行共済

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会